

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010101020500		事業の種類	5		
年度	23	事務事業名	つどいの広場補助事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業 重要度 4		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子		担当者名	森中 江美
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	まちの子育て広場利用者のため						
	誰(何)を対象として	まちの子育て広場利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点をづくり、安心して子育てできる生活環境の確保を図る。						
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		(年度)

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点を作り安心して子育てできる生活環境の確保を図るため、まちの子育てひろばを実施するための補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
	子育てサロン参加延人数	人	4,178	4,756	5,479	5,500	
	子育てひろばの参加人数	人	6,543	7,383	7,997	8,100	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.043	0.043	100	0.043	100	0.043	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	560,660	563,247	100	654,869	116	667,410	102	
	事業費	778,000	778,000	100	1,147,970	148	1,145,000	100	
	合計	1,338,660	1,341,247	100	1,802,839	134	1,812,410	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,338,660	1,341,247	100	1,802,839	134	1,812,410	101	
合計		1,338,660	1,341,247	100	1,802,839	134	1,812,410	101	

## ※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	全体進捗率
事業費累計					
進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		子育てサロン参加延人数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4,178	5,000	119.7	4,800	96.0	5,500	114.6	
	実績	4,178	4,756	113.8	5,479	115.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

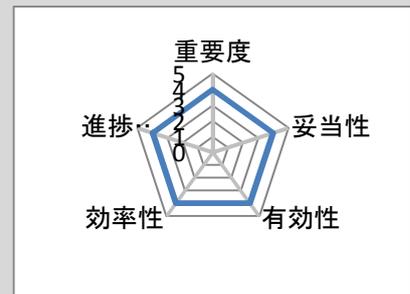
指標名1		参加者1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/子育てサロン参加延べ人数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標	186	156	83.9	239	153.2	208	87.0	
	実績	186	164	88.2	210	128.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	安心して子育てできる生活環境の確保という目的に即している。	4
	市民ニーズ	まちの子育て広場は仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点であり、市民ニーズは高い。	
有効性	成果目標(改善)達成度	参加人数は増加し、社会福祉協議会と連携した取組みがなされている。	4
	市民サービス	育児ストレスや不安感などを抱える保護者が気軽に参加できるような身近な場所は必要である。	
効率性	負担割合の適正化	子育てサロン以外の子育てひろばの運営支援により補助金は増額したが、まちのひろばコーディネーターに係る人件費補助であり事業費は適正である。	4
	手段の最適性	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を与えるために、現状で最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場の充実強化が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	23年度増額した補助金額を維持することでより一層のまちの子育てひろばの充実強化と定着促進を図る。

配点	32.5
総合評価	26